

# 八次中学校区 小中一貫教育だより

## 「やつぎを愛し 自立と貢献の志を持った児童生徒の育成」

No 4 平成29年6月発行

### 外国語活動の一層の充実に向けて

三次市では、平成27年12月に策定された三次市教育大綱の中で、「グローバル化する社会で活躍できる人材育成」を掲げています。その取組の一環として本年度から八次中学校に英語指導にかかわる職員の加配がついています。小学校から外国語活動（英語）の充実を図り英語力の向上を狙いとするものです。

八次中学校の西田弘栄指導教諭と高寄京子教諭の2名がそれぞれ6年生、5年生を担当し、各クラス月2回（2時間）の指導に携わっています。

○高寄京子先生は、なやんでいるときは、声をかけてくれるから、やさしい先生だと思います。それにわからないことがあったらやさしく教えてくれたり、表現してくれたりして、心がほっとします。また、みんなの気持ちに寄り添ってくれるから私は、高寄京子先生が大好きです。わからない英語もわかりやすく説明してくれて、とても勉強がわかりやすいです。

○高寄先生の勉強は、わかりやすいです。例えば、英語の発音がちがうとき、大きな声ではっきり言ってくれるし、伸ばすところは、動作もつけてくれるから言っているとき、すぐ直すことができます。他にも先生が英語で話しているとき、みんながわかっていなかったら、ところどころ日本語で説明してくれるし、見本も見せてくれるからわかりやすいです。



○西田先生と初めてお会いしたときは、きんちょうしてあいさつの言葉がカタコトになってしまいました。そんな私に西田先生は、「ハロー」とやさしくほほえみながら挨拶をしてくださいました。西田先生は、日本人であるのにマーシュ先生なみの英語のうまさで驚きました。それに、私たちのことを考えてくれて、聞き取れなかった時は、もう一度ゆっくり同じことを言ってくれ、時には私たちを笑わせてくださいました。西田先生の授業で一番楽しかったのは、ビンゴゲームです。ビンゴゲームの内容は1~12月のカードをシートに9枚並べてビンゴをねらうゲームでした。このゲームでは、クラスみんなのたんじょう日が知れて新しい発見がありました。私はそれから西田先生がしてくださる英語の授業をととても楽しみにしています。

○先生たちの授業はとても楽しく元気が出ます。西田先生はとても明るくやさしくて、マーシュ先生（ALT）はとてもわかりやすくていねいに何回も教えてくださいます。カルタや季節ごとの名前などいろんな方法で楽しく教えてくださいますのでわかりやすく、もっといろんなことが知りたくなります。マーシュ先生は、日本語もとても上手で初めて会ってお話するときは緊張してドキドキしたけど先生の方から積極的に話しかけてくださってとてもうれしかったのを覚えています。同じように西田先生も最初に一人一人に自己紹介をしていた時にちゃんと英語で自己紹介できるか心配だったけどやさしく話しかけてくださってとてもうれしい気持ちになりました。とても楽しくみんなのことをハッピーにさせてくださる授業だと私は思います。

7月1日（土）には、三次市教育委員会主催のイングリッシュキャンプに八次中1年生4名も参加します。

